

令和4年度香川公民館事業報告

資料1

【公民館主催(共催含む)】

R5.1.23時点

カテゴリ	事業名	概要	講師	実施日時	手法	対象	定員	参加者	成果・課題
1 子ども事業	1 夏のおはなし会	絵本やおはなしを通して、想像力を豊かにし聴く力を育み物語や本の世界への興味を引き出し心身の発達をうながす。	ストーリーテリングサークルおはなしのたまご	①7月28日(木) ②8月5日(金)	対面	①2歳～未就園児②園児～小学生	①10組 ②15人	①4組 ②13人	全体的に楽しめたという回答多かったが、手遊びやわらべうたの種類が多すぎたため、次回以降動画配信等の検討も必要。
	2 誰にでも描けるパステルアート	パステルを削った粉を指を使って描くアート。パステルの表現と技法を実践しながら学んでもらう。	香川公民館 社会教育嘱託員	4月～8月の第3土曜日(5回)	対面	小学生	各10人 (延べ50人)	延べ46人	参加者全員が楽しめた、また9割が自宅でもやりたいと回答があった。1～6年生を対象としたため描くスピードや理解度に多少差があったものの進行に大きな問題はなかった。
	3 子どもの「考える力」を育む空気と水のおもしろ実験	「空気と水を」テーマにした仮説実験授業を通じて、考える力と他人の意見を聞き再考し楽しみながら学んでもらう。	入澤真由美氏 (小学校理科教師、中学校非常勤講師)	8月21日(木)	対面	小学1年～4年	16人	14人	参加者は概ね楽しめたとの回答だったが、1年生にとって約2時間は長すぎたため、途中、競争等遊び要素を取り入れたことで何とか解消した。
	4 おもしろ科学たんけん～ヘロンの噴水を作ろう～	水を汲み上げるものを使わずに水が噴き出してくる原理を学び、ペットボトルとチューブで噴水を作る。	NPO法人おもしろ科学たんけん工房	9月23日(金)	対面	小学4年～6年生	20人	6人	内容はやや難しい印象から参加者は少なかったものの、ほぼ全員が原理や噴水の仕組みを理解し、アシスタントの補助もあり装置も製作できた。
	5 ウニランタンを作ろう	ウニの種類や生態を学びながら、ウニの殻を利用してランタンを製作する。	NPO法人パパラギ「海と自然の教室」小淵友美氏	11月13日(日)	対面	小学生と保護者	10組	9組	製作前の座学や作品制作は参加者全員が理解し楽しめたと回答。また当日乳幼児連れの家族の参加もあったが特に支障なく終了した。
	6 成長期の子どもの重要な靴の選び方	成長期の子どもの靴を選ぶ際に、子どもの健やかな成長のための靴選びを保護者に学んでもらう。	宮崎重行氏(マスターオブシューフィッター)	11月23日(水)	対面	未就学児～小学生の保護者	15人	5人	前回の講座では主に小学校低学年の保護者だったが今回は未就学児だった。参加者全員が内容を理解し靴選びの参考になった。
	7 おちゃっぴと作ろう！クリスマスくまさん	カラフルな粘土を使うことは脳に刺激を与え、色彩感覚を養うことに適していると言われ、親子一緒に楽しみながら遊べるツールとしても最適である。	おちゃっぴさん(粘土クリエイター)	12月3日(土)	対面	3歳～小学生(保護者付添あり)	20人	19人	小学生低学年の参加者が多く、殆どの方が自宅でやってみたいとの回答だった。今後はテーマをハロウィンにしたり、対象年齢も引き上げるなどの改善の検討必要。
2 シニア事業	8 はじめての麻雀教室	シニア世代を対象に脳の活性化に良いと注目されている麻雀をテーマにルールとマナーを学び実践してもらおう。	香川公民館 社会教育嘱託員	9月～12月の第1,3木曜日(8回)	対面	60歳以上の女性	8人	8人	参加者同士の交流は図れたが、講義に時間を要し実践の時間があまりとれなかったことから1～3月にフォローアップを行う。
3 家庭教育支援関連事業	9 乳幼児健康相談	保健所との共催事業。乳幼児の心身の健康と発達発育相談、母親の育児サポート。	保健所健康増進課	4月14日(木) 7月14日(木) 10月13日(木) 1月12日(木)	対面	乳幼児と保護者	各5人 (20人)	4月-5人 7月-5人 10月-3人 1月-3人 (16人)	専門職による個別指導を行い、乳幼児の心身健やかな成長と健康を確立し保護者に寄り添うサポートを行う。
	10 親子饗沢味噌作り講座	親子で味噌の仕込みを体験してもらいながら、親子や参加者同士の交流を図る。	米の花店主 熊澤弘之氏	11月27日(日)	対面	小学生と保護者	8組	8組	発酵食品についての理解や味噌の作り方について参加者全員がほぼ理解していただいた。講座当日の朝に納豆を食べない、触らないという注意点があった。

カテゴリ	事業名	概要	講師	実施日時	手法	対象	定員	参加者	成果・課題
4 地域課題解決等事業	11 夏休み学習室開放	夏休み期間中の近隣小中学生が落ち着いて学習できる場を提供するとともに、空き部屋の有効活用を図る。	—	7月21日(木)～8月30日(火)	対面	小学3年～20歳	1日2コマ(各回10人)	75人	夏休み開始から7月末まで約6割、8月初旬からお盆前まで約3割と全体の約9割がこの時期に集中した傾向となった。
	12 K-POPを歌っちゃおう！初めての韓国語にチャレンジ	K-POPをテーマにして、正確な発音や歌詞の意味、言葉の使い方、歌詞の背景にある韓国の生活習慣、文化など学ぶ。	李順蘭氏(イソラン)	8月6日(日)	対面	小学生と保護者	10組	1組	前年度2回中止となり今回開催できたものの2組のキャンセルにより1組の参加となった。課題として語学または歌と内容を絞った方がよかったのではないかと。
	13 ミニ音楽祭	市民提案による主催事業。日頃の学習成果発表の場の提供及びサークル活動の内容を知ってもらう機会とする。	5団体出演	10月8日(土)	対面	一般	20人	出演者73人 観覧者62人	5団体が出演。想定より観覧者が多かったため一時的に席が不足したり、入退室で込み合うなどの課題もあった。
	14 かがわ健康ウォーク「鎌倉殿をめぐる茅ヶ崎の歴史散歩」	「鎌倉殿の御家人懐島景能」と源氏と茅ヶ崎ゆかりの史跡紹介の座学を行い、市内の源氏と関わりある史跡をめぐる。ふるさと意識向上と運動の習慣化につなげる。	ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会	10月14日(金) 10月28日(金)	対面	一般	15人	延べ29人	全ての参加者が今後も参加したい、楽しさを実感したと回答。予定時間を過ぎたため外での講座は時間設定に注意が必要。
	15 現役世代のためのがん防災セミナー	「がん」を自然災害として捉え、あらかじめ知っておくべき対策を「がん防災」として伝えるセミナー。	一般社団法人がんと働く応援団 武田亮子氏	10月29日(土)	オンライン	一般	20人	14人	殆どの参加者は、もしがんを告知されたとき何をすべきか理解できたと回答。40、50代の参加者を想定していたが、60歳代の参加が半分を占めていた。
	16 筆文字アート 己書で年賀状を書こう	己書にルールはなく、自由に筆を走らせ自分の世界観を表現してもらうため基本的な筆運びを学んだり、アレンジを加え自分の書を見ることができるようにする。	大山郁香氏 心温度(ほんわか) 己書道場主催	10月30日(日)	対面	一般	20人	19人	決まった型がないので誰でも実践できて習得にそれほど時間を要しないことが分かった。今後、講座で製作した作品を館内展示することも検討。
	17 かがわ健康ウォーク「水彩スケッチ散歩」	座学で水彩技法を学んだ後、横浜三溪園にてスケッチを実践し、作品発表会を行う。学ぶ楽しさの実感と歩くことの習慣化を目指す。	小林幸信氏	11月11日(金) 11月18日(金) 11月25日(金)	対面	一般	13人	延べ32人	基礎練習の座学から現地に実践、そして発表と3回の講座により参加者の習得度合いが高く満足度も高い結果となった。
	18 一眼レフ初心者カメラレッスンVol.2	一眼レフの使い方、マニュアルモード習得により、撮影した写真の完成度をアップするとともに、趣味を超えた芸術活動になるよう支援する。また撮影を通して茅ヶ崎の魅力を伝え広める。	香川公民館 社会教育嘱託員	11月29日(火) 12月6日(火) 12月13日(火)	対面	一般女性	5名	5人(延べ13人)	少人数ながら参加者全員が満足度は高く、撮影会を行った里山公園は最適な撮影場所であった。今後はミニ作品展も検討。
	19 日本の歳越し「しめ飾りづくり」	伝承文化である「しめ飾りづくり」を通じて、日本の伝統行事や文化の継承と世代間交流を目指す。	三澤務氏、三澤錦子氏、小島賢造氏、井上幸雄氏、南上弘志氏、森俊彦氏、田中京子氏	12月10日(土) 12月11日(日)	対面	中学生以上	18人	18人(延べ25人)	参加者全員がしめ飾りを完成させた。ただ前日作業で紙垂の作成作業の効率が悪いとの意見もあったことから、次年度は別方法を検討する必要がある。
5 学習成果活用・学習情報提供事業	公民館だより「かがわ」	四半期ごとの公民館主催事業をPR。							2回発行(10月1日、1月1日発行)
6 次世代育成ネットワーク事業	中学生職場体験	地域の中学生に公民館の仕事について知ってもらい、公民館への理解を深める。		12月8日(木)					鶴が台中学2年4名の生徒がサークル活動の見学や館内装飾のお手伝い、案内の看板製作を行っていただき、公民館の業務内容を知っていただくよい機会となった。

***参考【5館連携事業】**

カテゴリ	事業名	概要	実施手法	実施日時	対象	定員	参加者
家庭教育支援関連事業	孫育て講演会	昔の子育てと今の子育ての違いを学び、楽しんで孫育てに参加してもらうことを目的に、講師の経験を通して得た知恵、考え方を講演。	対面・オンライン	10月6日(木)	一般シニア	70名	47名